



1. 1階エントランスホール
2. 4階コミュニケーションラウンジ
3. 5階受付とロビー

丸紅ビル 概要

- 所在地 東京都千代田区大手町1-4-2
- 建築主 丸紅(株)
- 設計者 大成建設(株)
- 施工者 大成建設(株)
- 竣工日 2021年2月26日

- 敷地面積 6,156㎡
- 建築面積 3,656㎡
- 延床面積 80,099㎡

- 階数 地上22階、地下2階、塔屋3階
- 構造 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造



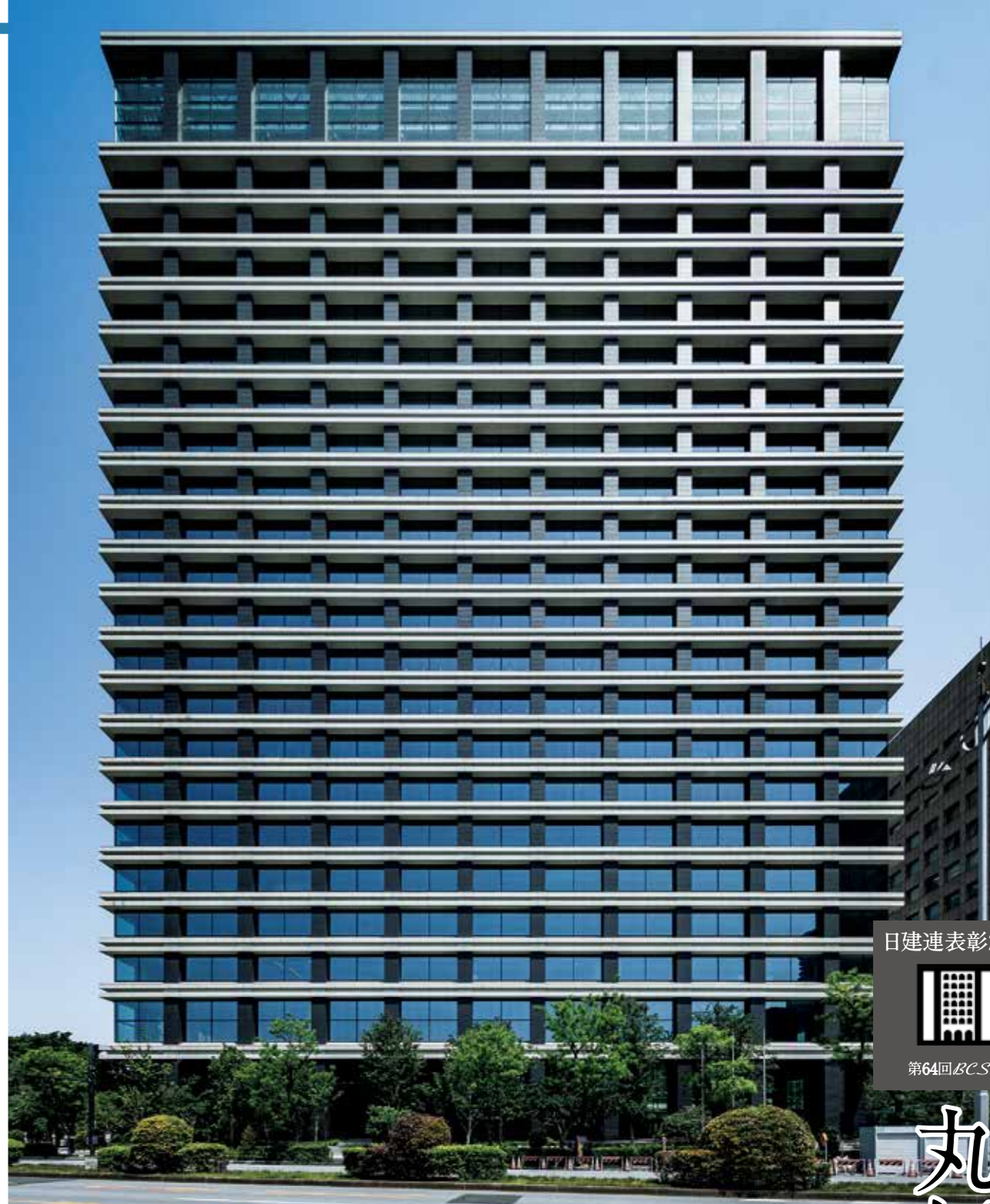
詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページに
アクセスしてご覧ください。

の中心に「Round」と名付けた
価値創造の場を設け、フロアによっ
てインテリア、照明演出を変え、目
的によって仕事の場を選べるように
ABWを実践している。まさに知的
生産性を上げる仕組みを発注者と
設計者が一体になって構築した証

と言えよう。
構造は前本社ビルの既存地下躯体を
残置し、その内側に新築躯体を構築
する設計・施工ならではの合理的な
工法を採用している。またその外側の
工区とは基礎形式を分けているが、異
種基礎を採用したことによる沈下差の解
析については、ネコンの技術を最大限
駆使して高精度沈下予測解析により検
証し安全性の確認を行っている。上部
構造は柱型を内部に出さずスペース効
率を上げるアウトフレーム構造を採用
しており、このアウトフレームは外部
からの日射制御としても機能している。
この場合、通常もつと

も懸念されるのは外装の汚れや積雪の
落下であるが、雨水排水や雪止め、
避雷に配慮した緻密な窓周りのディテ
ールにより見事に解決している。また、
本社としてのBCPに配慮した免震構造
を採用している点も評価できる。設備
システムに関しては近年のこの規模の
ビルで採用する標準的なシステムでは
あるが、外皮の省エネ性能の高いガラ
スや前述の日射遮蔽効果に加え、何よ
りも当敷地では地域冷暖房が利用でき
ることによりBEEI〇・六三を達成し
ている。

も意識し、「日本の美意識」をテーマに
内部仕上げに左官や木細工などの伝統
技術を採用している。ガラスや金属の
加工においても職人の技による手業
を取り入れられており、素材のよさを
生かした内装、建具、造作工事が施
工されている。まさに最新技術と伝
統技術の融合が実現されている。
総合的な見地からもネコンに設計・
施工一貫で発注したことで発注者と
一体でプロジェクトを進め、結果と
して最終のプロダクトも全体から細
部にいたるまで完成度が非常に高く
仕上げられた好例と言えよう。



日建連表彰2023



第64回BCS賞

丸紅ビル

選定理由

【選考委員】
中島 肇・篠原聡子・賀持剛一

「多様な働き方」を実現するために
建設された総合商社・丸紅の新
本社ビルである。一時移転、引越
などの煩雑なプロセスを経てでも
あえてグループの礎となる地で前
本社ビルの解体・建て替えによる
新本社ビル建設を選んだ。新たな
ワークプレイス構築にあたっては部
署を横断した社員代表によるタスク
フォースを組成し、早い段階から
設計者と一体になって計画をつく
り上げている。

敷地は南に内堀通りを挟んで皇
居に面した恵まれた環境にあり、
プランニングもこれを最大限に生
かしている。有効スペースを皇居に
向かって開いた空間とし、開口部は
大判のガラスを使用し、更にはコー
ナーの柱を抜いて最大限に視界を
広げている。ワークプレイスにはそ

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2023年で64回を数えました。

《日建連表彰2023 第64回BCS賞受賞作品》 WITH HARAJUKU / Entō / 大阪梅田ツインタワーズ・サウス、及び周辺公共施設整備 / 大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟 / 京都市美術館(京都市京セラ美術館) / シェルター・インクルーシブプレイス コバル / 渋谷 パルコ・ヒューリックビル / 清水建設北陸支店新社屋 / 新宮市文化複合施設(丹鶴ホール) / 那覇文化芸術劇場 なはーと / 日本女子大学白キャンパス再整備 / Port Plus / 丸紅ビル / ミチノテラス豊洲 / 早稲田大学本庄高等学院体育館